

大内さん親子

フライングディスク日本代表として世界大会出場！

6月にスペイン・ログローニョで開催された WFDF2025 世界 U24 アルティメット選手権大会 (2025WU24) に、日本代表選手として田布施町出身の大内海人さんが出場しました。また、8月10日～15日にスウェーデン・エンゲルホルムで開催された WFDF2025 世界フライングディスク個人総合選手権大会 (2025WOFDC) には、大内勝利さんが日本代表監督兼選手として出場し、親子で日本代表として世界大会に出場しました。

父の大内勝利さんは 種目別競技で『銀メダル』獲得、個人総合でも 10 位入賞！

7 種目の競技を競うフライングディスク個人総合選手権大会に出場した大内さんは、力を入れている種目『アキュラシー』（スロー・コントロールの正確さを競う種目）で、日本新記録をマークし大会 2 位の成績を収め『銀メダル』を獲得。さらに 7 種目競技の合計スコアで順位が決定する個人総合でも 10 位に入賞されました。

同大会は、部門別でも順位がつけられており、50～59 歳の部門であるグランドマスター部門（以下、GM 部門）で活躍された大内さんは、『アキュラシー』は GM 部門 1 位金メダル、『個人総合』では 3 位銅メダルを獲得するなど、輝かしい結果を残されました。

競技歴 40 年、2007 年以来 18 年ぶり 6 回目の世界大会への挑戦となった今大会について『目標としていた個人総合トップ 10、アキュラシーでは新記録でメダルを獲りたいという 2 つの目標を達成することができました。また、GM 部門でもそれぞれメダルを獲得することができ、とても楽しい大会になりました。』と大会の感想を述べられました。

（大会写真提供：一般社団法人日本フライングディスク協会）



息子の大内海人さんは 7 人制チーム種目『アルティメット』で 5 位の健闘！



▲大会での試合中の様子

（大会写真提供：一般社団法人日本フライングディスク協会）

【大内海人さんコメント】

先日世界 U24 アルティメット選手権大会に参加して来ました。メダル獲得を目標に初めての世界大会に挑みました。日本人が世界に勝る点は多くありましたが、なかなか外国人に勝つことは難しかったです。結果として、5 位で世界大会を終えました。目標のメダル獲得には届きませんでしたが、この経験を今後も活かしていきたいと思います。応援ありがとうございました。

フライングディスクとは？

フライングディスクは、1940 年代にアメリカ合衆国コネチカット州にあるエール大学の学生が、パイ屋のパイ皿を投げて遊んだことが起源とされています。1948 年にプラスチック製の安全なディスクが作られ、その後『フリスビー』の名称で売り出されたことにより、世界中に広まりました。

優れた飛行特性を活かした 11 種目が生み出され、プラスチック製ディスクと 11 種目を総称する一般名称『フライングディスク』が 1984 年に制定されました。

（参考：一般社団法人日本フライングディスク協会ホームページ）



8/5 ドイツのスポーツ少年団と交流しました

『第52回日独スポーツ少年団同時交流事業』が8月4～8日の期間に柳井地域で行われ、ドイツから9人の団員が訪れました。8月5日にはTAIKOスポーツセンター田布施で、ドイツのスポーツ少年団と田布施JSCスポーツ少年団・田布施中学校女子バレーボール部で、バレーボール交流を行いました。最後に親善試合を行い、会場は盛り上がりました。団員同士で積極的にコミュニケーションを取り、交流を深めました。



8/5 ほ場整備などについて学びました

城南児童クラブで、中国四国農政局南周防農地整備事業所の出前授業が行われました。

一部では農業の現状や生物保護への取組についての説明が行われ、特にクイズコーナーではこの日一番の盛り上がりを見せていました。

二部ではグラウンドでドローンを飛ばし3Dで地形を測る測量の実演を行い、上空はるか高くまで上がっていくドローンに、子どもたちは驚きの声を上げていました。



ま ち の で き ご と

8/24 合唱団サマーコンサート

西田布施公民館で田布施少年少女合唱団サマーコンサートが開催されました。

今年のコンサートは、合唱団OGによる特別ステージが披露され、きれいなハーモニーを届けました。また、幼児～小学生の団員による元気いっぱいの『キッズステージ』、中学生・高校生による懐かしの昭和歌謡『昭和アイドルソングメドレー』、そしてエンディングでは『ハッピースマイルたぶちゃん♡らぶちゃん』を披露し、会場に元気な歌声を届けました。



8/7・8 『ジュニアものづくりラボ』開催

今年も田布施農工高等学校と町が連携して、ものづくりのワークショップ『ジュニアものづくりラボ』を開催し、町内在住の中学生が参加しました。参加者は『ものづくりコース』と『ロボットコース』に分かれ、3Dプリンターを使用してLED基板を搭載したオリジナルランタンの製作や、コントロール基板のはんだ付けから3Dプリントボディの組立てや配線・制御プログラムまでを体験して自動で動くAI搭載の『ミニ相撲ロボット』を製作し、相撲対決をして楽しみました。

